

# YAG シャワー 施術説明・同意書

ロングパルスNd:YAG レーザー（1064nm）をシャワーのように肌に照射し、皮膚深部のコラーゲンに働きかけリジュービネーション効果（肌のひきしめ、たるみの改善、ふっくらとした肌質感）が期待される治療です。また、ヘモグロビンにも吸収される波長のため、顔の赤み、ニキビの赤味を軽減させる効果もあります。施術中の痛みはほとんどなく、温かいシャワーを浴びているような感覚で、心地良く施術を受けられることが特長です。

- 効果の持続期間等には年齢や肌質などによって個人差がありますが、1ヶ月間隔の継続的な治療によって、より効果が持続します。
- 施術中、痛みや違和感があればお知らせください。
- 照射直後には軽い赤みや腫れ、患部のほてり、稀に赤い発疹や一時的なニキビの悪化をおこす場合がございます。
- 施術の赤みや腫れが治まればお化粧可能です。保湿をしっかりと行ってください。また、日焼けによる色素沈着を生じる可能性がありますので、紫外線対策を十分に行なってください。
- 出血性疾患がある、光線過敏症（SLE 等）、金製剤による治療歴が直近の1年にある、金の糸が入っている、ペースメーカーが入っている、過去にレーザーにて合併症が生じた、治療部位に皮膚疾患、癌や感染症があるに該当する方は、治療を控えていただきます。
- 授乳中、糖尿病などの慢性疾患がある、膠原病など自己免疫性疾患がある、治療部位に金属プレートやシリコンが入っている、直近でヒアルロン酸や脂肪注入、スレッドリフトをした、ケロイド部位への治療、あるいはケロイド体質、ヘルペスウイルスに感染している、直近の過度な日焼けがあるに該当される方は、治療を控えていただく場合がございます。
- 妊娠中・てんかんを持病にお持ちの方のご案内はお断りしております。
- 内服中のお薬や既往歴のある方、ケロイド体質の方は事前にお申し出ください。
- レーザーや医療機器はいずれも精密機器です。万が一機器にトラブルがあった際には、同日に治療を受けていただけない場合がございますのでご了承ください。
- 剥離作用のあるニキビ治療薬・レーザー治療・ピーリング前・レチノール製品等を使用している場合は前後1週間使用を中止してください。

私は上記治療について説明を受け内容理解し、自分自身の意思で施術を同意します。

### 光過敏症の副作用を伴う可能性のある薬剤を服用されているお客様へ

光過敏症とは、光（特に紫外線やレーザーなど）に反応して皮膚に赤み、かゆみ、腫れ、水疱、色素沈着などの症状が現れる病気です。したがって、光過敏症の副作用を伴う可能性がある薬剤を最後に服用されて、2週間が経過していなければ施術を行うことができません。

そのため、私は、上記薬剤を最後に服用してから2週間が経過していることを申告いたします。もしくは、私は上記薬剤を最後に服用してから2週間が経過していませんが、本日、クリニックの医師・スタッフから、美容施術において光を使用する施術（例：レーザー、IPL等）により、現在の内服薬が光過敏症を引き起こす可能性があること、およびそれによって生じる皮膚トラブルについて説明を受けました。そのうえで、私は自己の責任においてテスト照射を受けることに同意いたします。また、テスト照射後、異常な皮膚反応がみられなかった場合に限り、本施術を行うことに同意いたします。

本施術において万が一何らかの肌トラブルや副作用が発生した場合でも、クリニックの責任を問わず、自己責任であることを理解・承諾いたします。

### ステロイドの内服をされているお客様へ

現在または一定期間内にステロイド薬（例：プレドニゾロン、デキサメタゾンなど）を内服している、または、ステロイドの湿布・外用薬（例：プレドニゾロン、デキサメタゾンなど）を使用している場合、当クリニックでは安全性の観点から、光・レーザー等を用いた施術を行うことができません。

そのため、私は、上記ステロイド製剤を使用停止してから2週間が経過していることを申告いたします。

ステロイド薬の内服および外用（湿布・塗り薬）は、以下のような理由により、美容医療におけるレーザー・光治療などの施術において重大なリスクを伴う可能性があることを理解しています。

- ・肌のバリア機能の低下による過敏反応のリスク
- ・色素沈着・白斑・熱傷などの副反応のリスク増加
- ・創傷治癒遅延による肌トラブルの長期化
- ・免疫抑制状態による予期せぬ反応の可能性
- ・ステロイド外用部位への施術による局所的な炎症や色素異常のリスク

なお、今後、ステロイドの使用を中止した場合でも、施術の可否については医師の判断に従い、必要に応じて一定の経過観察期間を設けることがあることを理解・承諾いたします。

年 月 日 氏名